

CAUA FORUM2011

2011年6月9日

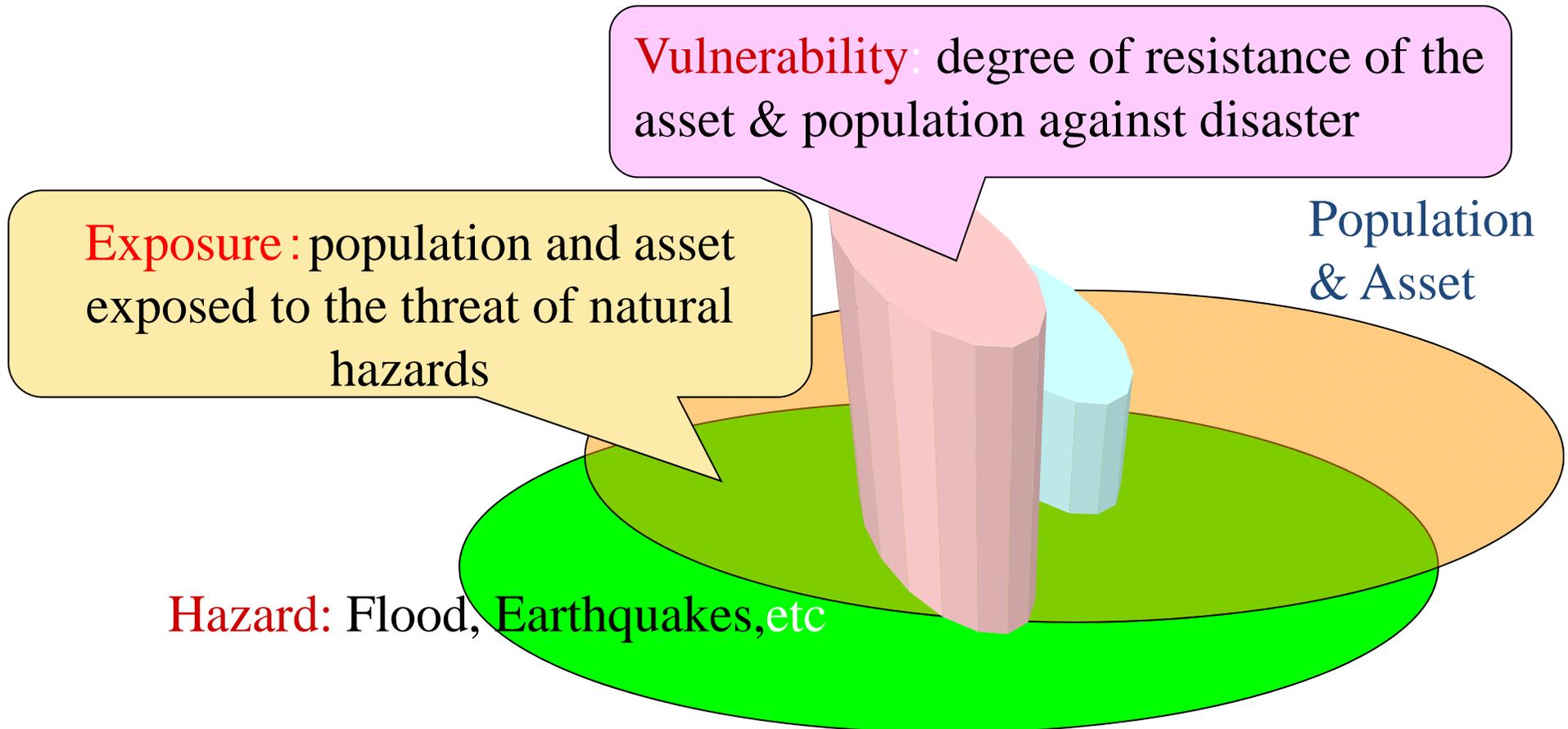
災害時での情報システムに求められるもの

防災研究所 社会防災研究部門
畑山 満則

災害リスクとは

構成要素

- ・ Hazard(地震や洪水など災害自体の可能性が高いところ)
- ・ Exposure(ハザードにさらされている人や資産)
- ・ Vulnerability(災害に対する耐久性)



防災システム(危機管理システム)

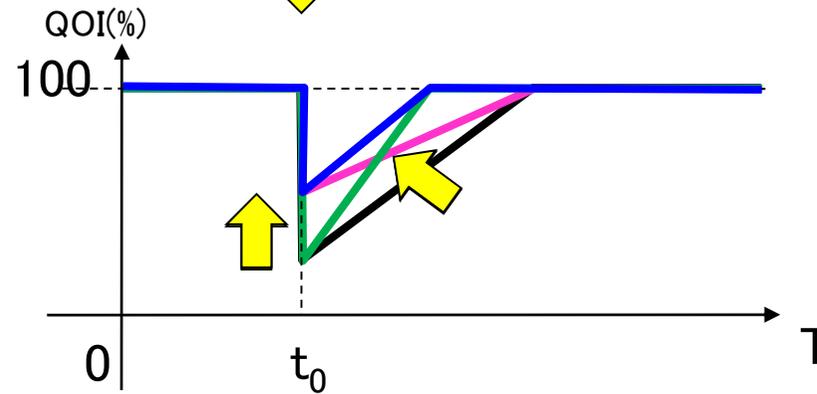
リスクマネジメント

危機事態の発生を予防するための
リスクの分析方法等が概念の中心



クライシスマネジメント

危機事態の発生後の対処方法に関する
点が概念の中心

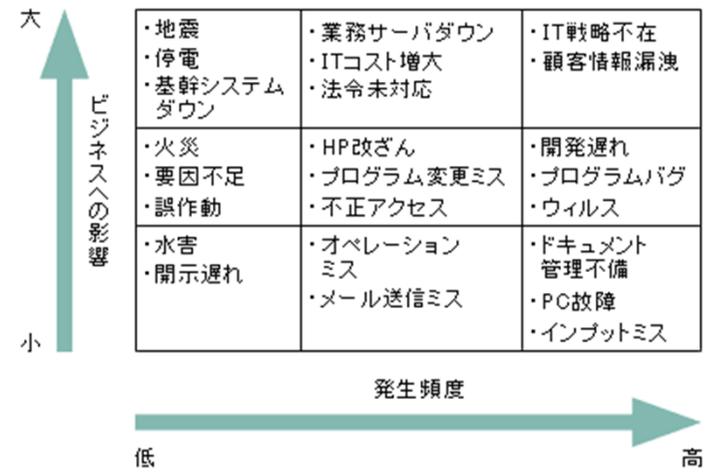


Quality of Infrastructure

情報システムのリスク

情報システムのリスク=情報セキュリティ?

図表1 ■ ITリスクの例



出典:「ITリスクと会計情報-ビジネスインパクト分析中央青山監査法人」
の抜粋を一部改正

日本セキュリティ・マネジメント学会誌(2006年第20巻第1号黒川巻頭言)

情報システム関連業界で働く人たちの7割が文系大学の卒業生

急速な情報処理技術の進歩に追いつけず、その技術にサポートされたマネジメントシステムを十分に身につけられないまま組織内の上下左右からのストレスに悩まされている。

情報システムの分野においてもゼロリスク(リスクを全くなくしてしまうこと)は不可能

新しいものを導入すれば、旧来のものが持つリスクはなくなるかもしれないが、別のリスクが潜んでいると考えられる

このようなリスクは災害時に表出化することが多い

情報システムリスクと災害リスク

情報システムのリスク

最近の情報システムはインターネットを利用したものから
インターネットに依存したものに变化しつつある

情報システムの果たすべき役割とインターネットに潜むリスクの関係を
考えて設計されているのだろうか？

例えば、

インターネットは、部分的な切断が全体に影響しないような構成となっているが
切断した場所がカバーされるわけではない。

切断は、物理的にも、ソフト的にも起こりうるし、停電でもおこる

これらのことが複雑に起きうる状況下でも稼働してほしいシステムが
インターネットに依存するのが本当にいいのかは、情報システムを導入する側の
判断であるが、行政機関などはとてもそのようには思えない

新しいシステムには必ずリスクが潜んでいる

「情報システム＝なんでもこなせるすごいもの」と捉える風潮
CS分野の人々のリスクに対する説明不足
IS部門の人材不足



新しいリスクの埋没

情報システムが障害を引き起こす原因

- ① 情報システムの機器そのものの故障
- ② 情報システムの技術的な問題
- ③ オペレーションの問題
- ④ 通信の問題
- ⑤ 付属のハードウェアの問題
- ⑥ 情報システムに付随する設備の問題
- ⑦ コミュニケーションの問題
- ⑧ コンテンツの問題
- ⑨ 常識の変化

